＝26回県学会かわら版＝

第１号

～実行委員から～

　学会長を仰せつかっている佐藤知生です。第26回山形県作業療法学会実行委員会より、これから、準備進捗状況の報告を兼ねたかわら版をホームページに掲載させていただきます。学会長の愚痴も多くなるかもしれませんがご容赦願います。

〇これまで、月1・2回のペースで打ち合わせを進めてきました。ようやく、内容の骨子も決まりました。よりよい学会にしていきたいという気持ちだけで準備しています。

メインの企画は特別シンポジュウムと一般公開シンポジュウムです。

　特別シンポジュウムは生活行為向上形デイサービスを立ち上げ予定の浅野有子さんを茨城からお呼びし、会員からは発達領域で独立したアーチの小川友美さん、精神障害領域でデイケアを長く運営している熊谷幹生さんと、各領域での「連携」をテーマにお話し頂きます。おっと、今回の学会のテーマは「連携」でした。

　一般公開シンポジュウムはきらりよしじまネットワークの高橋由和事務局長、地域包括支援センターふれあいで「地域づくり」を担当している椎名氏、行政職のOTとして実践してきた県立大学の慶徳さんからお話いただきます。「地域づくり」というテーマとなります。



〇現在は演題追加募集中です。締め切りは12月1日。これがホームページに掲載されるころには、終了しているかもしれせんが。演題発表への申し込み期待しております。多くの病院・施設に「演題発表者いませんか」の声掛けの電話をさせて頂いております。非常に温かく迎え入れていただいたと思っております。

果たして、その結果は？



〇順番が逆ですが。先日19日に予算案を県士会理事会に提案し、承認を頂いております。

〇本学会は、県学会の会場固定して行おうという体制の第1回目です。学会運営部・三役・理事の皆様と学会テーマと同様に「連携」して進めてきております。

〇学会の参加者数が増えて、会場の確保が地区によっては困難になってきた結果です。

〇参加費は値上げしております。両日参加5,000円となります。詳細は学会案内を見てください。

〇抄録は学会参加者へは当日無料配布し、会員はWEBからダウンロードできるような形になります。ということはこれまでのように会員へ全員配布はせずという（希望者には販売します）ことです。

〇参加費は事前徴収となります。

〇「値上げして、かつサービスが低下しいるんじゃねーの」というそしりを覚悟して、あらたな取り組みに挑戦しています。これも長期的には会員のため。

〇ちなみに会場は国際ホテルです。5月19日・20日の開催です。

〇だらだらと書きましたが、今後もご協力のほど、よろしくお願いします。

